

シンフォニアテクノロジー 2022 年度決算説明会 質疑応答(要旨)

(2022 年 11 月 30 日(水))

【回答者】

代表取締役社長 平野新一

Q クリーン搬送分野において、競争環境の変化による影響はどのように考えているのか？

A アメリカ、中国、ヨーロッパ、もちろん日本でも新しい顧客の開拓が進んでいる。それ以外の商品では、微細化の流れに対応した製品の開発や、半導体製造の「後工程」の自動化に向けた開発を加速させている。

生産においては、部材調達が課題であるが、豊橋の増産対応、タイでの生産拡大を進めており、体制を整えている。

Q クリーン搬送分野の拡大により、既存のセグメントがアンバランスになってきているが、今後、セグメント変更の予定はあるのか。

A 半導体関連の分野を一つのセグメントとして、3 セグメントから4セグメントに移行することを考えている。

Q 研究開発費の今後の見通しについて、さらに増やしていくのか、方針についてどう考えているのか。

A 開発費は、前中期計画に対し約1.5倍増やす計画としている。開発投資は、出来る限り積極的に取り組んでいき、今の水準以上を維持したいと考えているが、リソースの問題もあるので、バランスを取って進めていく。

Q 来期以降の設備投資の見通しと、生産キャパシティの状況はどうか？

A 設備投資額は、前中期計画に対し、2 倍程度増やすことを予定しており、上期末時点では予定通り進捗している。クリーン搬送の生産が増加しているが、豊橋の工場拡張、タイの新工場建設によって2 倍のキャパシティを確保するべく取り組んでいる。